



みつ また  
**三 極**

〒982-0251  
仙台市太白区茂庭字中ノ瀬西2-2  
仙台市立生出中学校  
TEL：022-281-2333  
FAX：022-304-8252  
Email：oidetyu@sendai-c.ed.jp

校 訓 「己れを尽くして さとく 正しく たくましく」

教育目標 「自ら学び自ら考え、心豊かで人間性あふれ、たくましく生きる生徒の育成」

本日、平成30年度第72回卒業証書授与式がたくさんの方々の保護者、御来賓の皆様が参列いただき、15名の卒業生が生出中学校を巣立ちました。これまで、陰となり日向となり生徒を見守っていただきました地域の方々に心より感謝申し上げます。4月からは、それぞれの進路を歩みますが、生出の地域から離れて、初めてそのありがたさに気付くことと思います。

また、卒業生の保護者の皆様におかれましては、お子様の御卒業おめでとうございます。これまで、本校の教育活動に御理解と多大なる御協力をいただいたき深く感謝申し上げます。御家庭でも、たくさんお子に関わり、御苦労もあつたことと存じますが、本日の堂々とした姿からお子様の成長を感じたことと思います。

今後、在校生と共に、地域の方々や保護者の方に御協力をいただきながら、生出中学校の伝統を継承し、更に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



卒業生へのメッセージ 八島校長

◇ 同窓会入会式 ◇

3月8日(金)の1校時に、本校同窓会の佐々木宏行会長、沼田則男・嶺栄松両副会長、川村武寿監事の皆様に御臨席いただき、平成30年度の同窓会入会式を行いました。

佐々木会長からは御挨拶の中で、本当に“優しい心”とは、自分が深い悲しみや苦しみを体験することで、他に対しても相手に深く寄り添い、やさしく接することができるようになる。という事について具体例を示しながら、卒業生に対して、「優しい心」の持ち主になってほしいというお話をいただきました。また、沼田副会長からは、女優の故樹木希林さんのことを書いた書物の中から、樹木希林さんが「自分は俯瞰する力があつたので、先を見通して生活し、大きく道をそれることがなかった。」ということをもとにして、「これからの人生に小さな失敗はたくさんあると思うが、物事を大きく捉え、俯瞰しながら生活すれば、大きく道を外すことはない。」というお話をいただきました。お二人の話は、人生の先輩として、また、同じ地域・学び舎で育つた同窓生として、卒業生へのはなむけの言葉となりました。卒業生の代表として、村井太河君からは、「これまでの感謝と今後の不安な気持ちと、これからも見守ってほしい」ということ、生出中学校の同窓生として、「生出中学校の発展に協力する」という力強い誓いの言葉が述べられました。たいへんに有意義な会となりました。  
※ 俯瞰(ふかん)とは、高いところから見下ろす。の意



◇ 「凧あげ」の会開催 ◇

3月18日(月)の10時から本校の校庭を会場に、3年生(卒業生)が作った「大凧」をあげる会を行います。なお、雨天の場合は中止となります。

※ 学校だよりに掲載されている個人データ等は、仙台市個人情報保護条例によって保護される対象ですので、第三者への公開・開示や不当な目的使用、複写及び複製を禁止します。

